

## 自己評価報告書

平成 23 年 3 月 31 日現在

機関番号：33910

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20530708

研究課題名（和文） 戦後日本における地方教育ジャーナリズムに関する基礎的研究

研究課題名（英文） A Study on the Educational Journal after World War II in Japan

## 研究代表者

小熊 伸一（OGUMA SHINICHI）

中部大学・現代教育学部・教授

研究者番号：40221155

研究代表者の専門分野：教育学・教育史

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：教育ジャーナリズム、教育関係雑誌

## 1. 研究計画の概要

今年度も引き続き、敗戦直後から1949（昭和24）年の新学制の完成年度までのいわゆる占領期を研究対象とし、各地方から創刊された教育関係雑誌や新聞が、いかなるニーズによって創刊され、その隆替はどうであったのか、また、各誌が、どのような教育情報を掲載し、伝えようとしていたのか、教育関係雑誌や新聞の史料収集と書誌的分析を行いました。

## 2. 研究の進捗状況

なかでも、今年度は、国内調査に加えて海外調査として、アメリカ議会図書館に所蔵されているWDCコレクションの調査を行いました。WDCコレクションには、Washington Document Centerからアメリカ議会図書館に移送された戦前、戦後検閲資料及び文書が含まれていますが、このコレクションの中から、国立国会図書館をはじめ、国内の各図書館やプランゲ・コレクションに見られない占領期の教育関係雑誌の複写をすることができました。

ちなみに、誌名と号数を記しておきたいと思います。『新しい学校』興文館 第3巻第5号、第9号～第10号、第12号）、『新しい教室』中興出版、4（11～12）、5（1～6）、6（1～3）、『新しい小学校』興文社 2（1、4、6）『いとし児』（福岡）、2（6、15）→『育てつつ』2（3、5）、『いとし児』（両親教育協会）1、3～5、7～8、『児童文化』（熊本）43—5・6、『教育復興』新日本教育文化研究所 2（10）、3（3）、『教育

現実』教育図書 1（4～5）『教育委員会通信』（京都）4、『教育女性』学芸図書出版社 1（5、7）、『教育建設』（札幌）23、38、41、『教育公論』（小倉）21（6、11～12）、22（1～2 4～6）、『教育公論』明治図書 3（11）、4（10～12）、5（1～3）、『教育社会』西荻書店 2（3）、4（12）、5（1、6）、『教育思想』精神文化学会 2『教育手帳』日本書籍 1、3～5、『教育図書ニュース』教育図書取次協会 2～4、6、15～16 『新教育タイムス』新教育事業協会 1、4、7 『図書教育』目黒書店 1（2～3）、2（6）、『6・3教室』新教育協会 3（10～12）、4（1、4、7）

その他、古書店を通じて、教育関係雑誌を購入し、書誌的分析も行っています。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

今年度の国内外の調査を終え、分析を行い、研究成果をまとめていきたいと思っています。

## 4. 今後の研究の推進方策

今後も引き続き、教育関係雑誌の収集と書誌的分析を行い、最終報告書をまとめていきたいと考えています。

## 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計1件）

①小熊 伸一、占領期における教育関係雑誌所蔵調査報告、中部大学現代教育学部紀要、第3号、2011年、pp. 79-87 査読有